



意外と身近な副腎疾患

内分泌・糖尿病外来
沖 隆（おき ゆたか）医師

はじめて寄稿します。

私は、長らく内分泌疾患を担当して参りました。患者の多くは糖尿病や高血圧症で通院されていました。まだ、医師に成り立ての頃にクッシング病の患者を診療して、下垂体や副腎という内分泌臓器に興味を持ちました。

下垂体・副腎と言っても、ピンとこないかも知れません。医療や健康に関するTV番組を見ているとストレスホルモンという言葉が出てきますが、そのストレスホルモンこそ副腎から分泌されるコルチゾールというステロイドホルモンです。人が最もストレスを感じる朝の起床時に血液濃度が最高潮となり、眠っている夜中はその10分の1未満まで低くなります。このコルチゾールこそ、ヒドロコルチゾン（ソル・コーテフやサクシゾン）そのものです。もっと効果を長くしたり強くしたものが、プレドニゾロンやデキサメタゾンなのです。

ところで、動物が海から陸に上がって進化する過程で、体内に海のように一定の塩分があるよう調節できるようになりました。その調節をするのも副腎皮質から分泌されるアルドステロンというステロイドホルモンです。

アルドステロンは血液を介して腎臓の尿細管に到達すると、尿に捨てられそうになるナトリウム（塩分）と水を体内に取り戻すように働いています。これらのステロイドホルモンは、知らない間に体の恒常性（ホメオスターシス）のため、大活躍しているのです。

副腎は、左右の腎臓の上にひっそりと存在しています。そのどちらかに腺腫（良性の腫瘍）ができたり、遺伝子異常のために両方の副腎からステロイドホルモンが異常に多く分泌されると病気となります。

アルドステロンが多くなると原発性アルドステロン症と言われ、若年にもかかわらず重症の高血圧症になりやすく、脳血管障害・心不全・腎不全になりやすい病気です。実は、国内に高血圧症患者が4000万人いると言われ、その約5%が原発性アルドステロン症だと試算されています。一方、コルチゾールが過剰になったものをクッシング症候群と言って、年間に人口100万人当たり1～2人の患者が発症すると言われていています。プレドニゾロンをたくさん内服している患者さんの副作用と同じで、顔が丸くなり（満月様顔貌）、四肢が細いのに体幹だけ太ったり（中心性肥満）、抑うつ的なったりします。糖尿病や高血圧も高頻度で合併します。稀な病気と以前は思われていました。しかし、CTやMRI等の画像診断が進歩するとともに、たまたま施行した画像診断で副腎に腫瘍を認めるケースが、200人中1名存在することが分かりました。これを副腎偶発腫瘍と言います。精査すると、クッシング症候群の典型的な症状はないものの、コルチゾールが正常人より多く分泌され、糖尿病や高血圧症になっている方が少なからず（副腎偶発腫瘍の5～10%）いらっしゃる事が分かってきました（サブクリニカルクッシング症候群）。いずれも、早期診断治療によって、寛解とすることができる良性の病気です。意外に、副腎の病気は少なくないのです。

沖 隆 医師

外来診療日（内分泌・糖尿病）
毎週 月・木・金 曜日



ススキ揺らす風

埼玉県熊谷の日本最高記録に肩を並べた、あの驚異的な暑さは幾らか和らぎましたが、日中の暑さは、まだ身の危険を感じる程です。それでも朝晩は涼しくなってきました。あんなに賑やかか鳴いていたクマゼミの声はピタリと止み、代わりにコオロギが鳴いています。周囲がまだ静かな早朝出勤の頃、その鳴き声は妙に寂しく感じます。ちょっとおセンチな今日この頃です。

職場環境は、外とは違った暑さで、体力消耗が著しく、心身共にかなり疲弊します。

この時期の昼休みは昼寝が日課となっています。いつものように寝ておきますと、居るはずのない子供の笑い声…。まさか座敷わらし…？ と目を覚ますと、事務所で昨年、お母さんになったばかりの同僚が、ニコニコしながらスマートフォンの動画を見ておりました。聞けば、暇さえあれば、お子さんを録画しては見返しているとの事。子供が可愛くて仕方がないのでしょうか。微笑ましい光景でしたが、親馬鹿な様子を揶揄（からか）いながら大笑わせて頂きました。

私の子供の頃は、8ミリカメラでも高価で珍しい時代でしたが、今では1人1台ビデオカメラを持っているのと同じ。しかもポケットに収まる小型サイズ化。画質も綺麗で、フィルムやビデオテープも必要とせず。おまけに通信機能まで備えている…。1960年代のショーンコネリー“007”なら、即秘密装備として採用していたでしょうね。

まさかこんな時代が来るとは夢にも思いませんでした。

時代・技術は進んできましたが、子を思う親の気持ちは変わらないと思います。今となっては確認する術もありませんが、昭和40年代、今と同じようにスマートフォンが普及していたとしたら、私の母親も彼女と同じように、私や弟を毎日撮影しては笑ってくれたのでしょうか？

事務所の外で風に揺られるススキの葉音を聞きながら、ふとそんな事を考えておりました。



第二病棟のご紹介

第二病棟は4階にあり、「一般病床」29床と「地域包括ケア病床」25床の計54床です。

「一般病床」では、一般内科・循環器内科・脳外科・眼科の急性期疾患の検査・治療を行っています。主な疾患としては、糖尿病・肺炎・心不全・狭心症・心筋梗塞・不整脈・脳梗塞・脳出血・白内障などです。「地域包括ケア病床」では、急性期での治療を終え、病状が安定した患者さんに対して、自宅や施設への退院に向けたリハビリや介護サービスの整備などの支援を行ったり、自宅での介護困難のための短期入院を受け入れています。

第二病棟では、医師・看護師・介護士・リハビリ・社会福祉士・薬剤師・栄養士・歯科衛生士・クラークなど、多職種が「ONE TEAM」となり、患者さん中心の医療・看護を提供できるよう、スタッフがひとりひとりの患者さんに真摯に向き合い、信頼関係を築くことを第一に考えています。多職種によるカンファレンスを定期的に行うことで、患者さんについての情報交換・情報共有を積極的に行い、退院支援に繋がっています。

第二病棟は助け合う風土と働きやすいのが自慢です。

スタッフ間のコミュニケーションは抜群であり、互いに協力し合う職場風土が自慢です。30代から40代の子育て世代のスタッフも多く、病棟の大きな原動力となっています。自分に合った「ワークライフバランス」が選択できる働きやすい職場環境となるよう努めています。「笑顔で挨拶」を合言葉に、明るい雰囲気の中にも患者さんに寄り添った看護を目標としています。質の高い医療や看護を提供するために、知識・技術の習得にも意欲的に取り組んでいます。

第二病棟 科長 川瀬三枝



浜松北病院 Webページ
リニューアルオープン



従来デザインを一新
内容も充実し
もっと見やすく
わかりやすくなりました
スマートフォンにも対応



掲載
情報
こんな
情報が
載って
います

お知
らせ

休診
情報

かか
り方

科の
紹介

健康
診断



◇遠州鉄道
積志駅下車
徒歩15分

◇遠鉄バス
JR浜松駅
10番バスターミナル
77 労災・東海染工
イオン市野行き
→浜松北病院下車

〒431-3113 静岡県浜松市東区大瀬町1568番地
TEL (053)435-1111(代表)
FAX (053)433-2700(代表)
TEL (053)435-1522(地域医療支援課)
FAX (0120)435-351(地域医療支援課)
E-MAIL seisyoukai@hamamatsu-kb.or.jp
ホームページ http://www.hamamatsu-kb.or.jp



翔 ぎ

はばた

2020
秋号
No. 59



盛翔会のWebページが新デザインになりました
内容も随時更新中です



医療法人社団 盛翔会

浜松北病院

大瀬介護保険センター おおせデイサービスセンター
訪問看護ステーション大瀬 おおせ第二デイサービスセンター
訪問リハビリテーション大瀬 きたぞうウォーク

基本理念

思いやりを基本とした
愛情ある医療と福祉を実現する。